研究タイトル

氏名・所属

※青字・赤字を消して使用

【背景・研究目的】

研究をするに至った経緯・社会的意義(研究背景)と、今回の研究内容により明らかにしたいこと(研究目的)を記載する。

＜背景の記載内容＞：

社会的な課題、医療や看護における課題、課題を解決するために必要なこと(今回の研究テーマ)、研究テーマについて明らかになっていること、明らかになっていないこと、理論的な根拠

＜研究目的の記載内容＞：

どのような問題を解決するのか、どのようなゴールに辿り着くことができるのか、量的研究であれば研究仮説

※背景は抄録では記載しない場合もある

【研究方法】

研究目的を達成するために、どんな研究をしたのかを具体的に記載する。研究目的との整合性、誰でも再現できる具体性を意識する。

＜研究方法の記載内容＞：

研究デザイン、介入方法、ランダム化、ブラインディング、評価項目、データ収集

方法、研究対象、比較対照、サンプルサイズ、研究に使用した材料

【結果】

客観的な指標や質的データなど具体的なデータを記載する。目的を達成するための結果を記載する。自分の考えを書かないように注意する。

＜研究結果の記載内容＞：

参加人数、解析人数、実験結果の数値、アンケート結果、インタビューデータ、

実際に行った調査の概要、統計解析結果、質的分析結果

【考察】

研究結果や先行研究から分かることのみを記載する。結果から導き出される解釈のみを書く。研究目的を踏まえる。既存の理論や先行研究と照らし合わせながら議論する。例「先行研究では、〇〇なことが分かっていて、今回の研究では〇〇なことが分かった。今後は〇〇を明らかにする必要がある。」

＜考察の記載内容＞：

研究目的に対して得られた成果、新しい知見として得られたこと、得られた結果は先行研究と比較してどうか、得られた結果は他の環境でも活用可能か（今回の研究の課題）、今後はどのような研究を行う必要があるか（今回の研究の課題）、得られた成果は臨床においてどのようなことに活用可能か（今後）の展望

※抄録では記載しない場合もある。

【結論】

結論では「背景・目的・方法・結果・考察」の内容を要約する。研究目的との整合性を意識することが1番重要。結論を読めば、今回の研究のポイントが理解できるように記載する。

＜結論の記載内容＞

全体の要約(目的、方法、結果、考察)、この研究で新たに分かったこと、仮説検証の結果どうだったか、今回の研究の課題、今後の研究予定、今後の展望

（文字数：○○字）